



消防千葉

2017 No.551 平成29年2・3月号

平成 29 年 3 月 1 日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL 043 (263) 9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



茂原公園の桜（茂原市）長生支部

巻 頭 言

「常備消防と非常備消防の連携体制」

長生郡市広域市町村圏組合消防本部 消防長 佐久間 重光



長生郡市は、房総半島のほぼ中央の太平洋側で、都心からは約50～70Km圏に位置しています。

管内人口は約15万人余で減少傾向にあり世帯数は6万余と増加傾向にあります。管轄面積327k㎡、地形的には茂原市を中心に西側は丘陵地帯、東側は平坦地で九十九里浜に面しているという特色を有しており、管内は東西に約22km、南北に約21kmとなっています。

平成25年4月に圏央道が開通し、首都圏等へのアクセスができ、羽田空港、成田空港へは1時間で行くことができます。

長生郡市消防本部は、昭和46年4月に、設立され、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町の1市5町1村で構成されている一部事務組合です。

消防以外にも、病院、水道、衛生、火葬場・斎場、教材センターなど運営しております。

更に、昭和49年4月には、防災体制の連携強化を図ることから、全国的にも初めて消防団も広域消防団として発足し、常備と非常備が連携体制を構築し地域住民の安心安全に努めています。

消防体制は、常備消防は、現在、1本部、4署、4分署、職員数232名、消防団は1本部、9個支団、32個分団、108個部、団員数1491名で消防業務に邁進しています。

消防本部では、防災拠点のかなめとなる消防庁舎の整備を図るため、消防庁舎建設計画を策定し、現在仮（仮称）長生分署を移転建設中です。

また、車両については、圏央道の開通に伴い救助件数の増加が予測されることから、救助体制を強化するため救助工作車を平成27年度増強導入いたしました。また、少子高齢化により救急件数の増加や圏域内に三次医療病院がないことで苦慮しておりましたが、東千葉MC協議会加入後は、搬送時間の短縮も図られましたが、管轄外への救急搬送が多いことから、救急車を平成27年度に8台全ての高規格化を図り、救急業務の円滑化・高度化に励み、住民の救命率の向上に努めております。

一方で、地域の安全・安心に必要不可欠である消防団は、当消防団においても団員の確保が切実な問題となっております。

そのため、市町村の担当課長会議や団幹部会議を定期的実施し、地域住民に消防団の重要性や必要性、日頃の活動や取り組みを理解してもらうため様々な施策を実施しております。更に、リーフレットを作成し成人式や高校の卒業式での配布や、出初式では、チーバ君に消防の法被を着せ啓発活動をするなど、地域防災力の向上を図っております。

また、消防団員の装備の充実強化を図るため、計画的に、夏用活動服の導入、活動服の仕様変更、報酬の改正、無線機及び受令機、発電機の整備、耐切創手袋の個人貸与などを実施してまいりました。



市町村財政は、厳しい状況ですが、職員が一丸となって知恵を出し合い、消防力の低下を防ぎ、更なる向上を目指すことが私たちの任務であると考えます。

今後も、多種多様な災害が発生しますが、地域の安心・安全は「常備消防と非常備消防」が連携し、一体となって迅速に活動することで、消防体制が構築されるとともに、職員・団員が夢と希望と誇りをもって邁進いたします。

平成29年新春を迎え 県内各地で消防出初式開催

平成29年の新春を迎え、恒例の消防出初式が1月7日（土）の旭市等を皮切りに2月5日（日）の成田市までの間、県下48消防団において消防職・団員をはじめ消防関係者や地域住民の参加のもと盛大に繰り広げられました。

消防出初式は、新しい年を迎え、消防職・団員が地域の安心・安全を守る職責の自覚を新たにし、防火・防災に対する消防人の心意気を示すとともに、地域住民の防災意識を高めるために毎年実施しているものです。

各会場には森田千葉県知事、石橋消防協会長、消防協会各支部長などが出席し、人員、器具の点検に始まり、パレードや分列行進などが規律正しく行われ、長年功労のあった消防団員の表彰等も行われました。

また、海難救助訓練、建物火災を想定した消火訓練や伝統を感じさせるとび職組合員によるはしご乗りの演技、少年消防クラブ演技披露、それぞれの地域での特色ある出初式が、多数の地域住民や家族が見守る中、整然と行われました。

各地の消防出初式の様子を写真により一部紹介します。

☆旭市消防出初式 1月7日（土）



石橋消防協会長祝辞



一斉放水披露（七色）

☆大多喜町消防出初式 1月8日（日）



石橋消防協会長祝辞



☆千葉市消防出初式 1月14日(土)



森田千葉県知事祝辞



石橋消防協会会長祝辞



梯子乗り演技



消防艇、航空隊による海難救助活動

☆市原市消防出初式 1月15日(日)



石橋消防協会会長祝辞



消防演技



ポンプ操法



徒歩分列行進

☆成田市消防出初式 2月5日(日)



消防協会長表彰



消防演技

千葉県消防協会臨時理事会の開催

千葉県消防協会臨時理事会が平成28年12月16日(水)に千葉市内で開催されました。

開会に先立って、第52回千葉県消防操法大会において総指揮者を務めた原久男理事に会長より記念品の「鳶口」の贈呈が行われました。

石橋 毅会長の挨拶の後、個人情報保護に関する規程、特定個人情報取扱規則の制定及び消防協会支部に関する規程の改正の3議案について審議が行われ、原案通り決議されました。

また、報告事項等は下記のとおり行われ、第23回全国女性消防操法大会には、出場意向調査結果を踏まえ柏市女性消防団の出場が決定されました。



◆ 報告事項

- 1 平成28年度の職務執行状況について
- 2 コンプライアンス委員会の開催について
- 3 平成29年の出初式の日程について
- 4 第67回千葉県消防大会の実施要綱について
- 5 第23回全国女性消防操法大会の開催について
- 6 平成29年度日本消防協会の主要行事予定について



平成28年度婦人防火研修会を終えて

千葉県婦人防火クラブ連絡協議会
会長 竹内 久子



石橋毅会長挨拶

日本列島に強烈な寒波が押し寄せ厳しい寒さが続く平成29年1月11日、千葉県消防学校講堂に県下各地から防火クラブ員をはじめ消防防災関係者多数のご参集をいただき、平成28年度の研修会が開催されました。当研修会は、昭和61年に開催以来、今年は31回目を迎えました。

これも偏に、千葉県消防・防災関係者皆様のご協力の賜と心より感謝申し上げます。

主催は、千葉県少年婦人防火委員会及び千葉県婦人防火クラブ連絡協議会、また、共催は一般財団法人日本防火・防災協会です。

開会に当たり、主催者代表の挨拶に続き、来賓の八田稔県消防学校長の紹介及び秋本敏文一般財団法人日本防火・防災協会会長からの祝電披露がありました。

続いて、講話に先立ち、熊本地震で貴い命を失われた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

午前中は、私から「住宅防災対策について」と題してお話ししました。

①住宅用火災警報器（以下、住警器）の全国平均設置率は81.2%・全国条例適合率は66.5%（総務省消防庁・平成28年6月1日時点）②千葉県の平均設置率は77.6%と全国平均に及ばず、全国順位は37位（千葉市は89.0%、条例適合率81.0%）③奏効事例として住警器の鳴動により早期発見された事例、また、防災品のおかげで初期消火ができ大事に至らなかった事例などを紹介。また、消防防災関係者が一丸となって、住警器や防災品の普及促進、住警器メンテナンスになお一層のご尽力いただくようお願いしました。

続いて、「平成28年版消防白書」の一部を紹介しました。



ひまわり佐々木喜代枝会長発表

①火災総出火件数は39,111件（前年43,741件）と対前年比、減少はみられる。②火災による総死者数は1,563人（前年1,678人）そのうち住宅火災による死者数は914人（前年1,006人）と減少している。③出火状況は1日当たり107件（前年120件）の火災が発生しており、このうち建物火災が全火災の56.8%（前年54%）を占めこれまで最も多い。④出火原因は、放火による火災が19年間連続して依然1位、たばこ2位、コンロ3位



竹内久子会長講話

と順位に変わりはない。⑤死者数は高齢者（65歳以上）が611人（前年699人）と88人減少しているが、今後、一人暮らしの高齢者が急増することを考えると深刻な問題である。⑥昨年末の12月22日に糸魚川駅北のラーメン店の火災は、強風に煽られ大火災に拡大し焼損棟数147棟、消失面積約4万平方メートル、被災者は120世帯224人という大火災に拡大した。

この大災害を顧みると、初期消火の大事さを改めて痛感します。住警器はメンテナンスの時期にあることも含め、消防防災関係者が一丸となって普及促進に取り組んで頂きますようお願いしたところです。

続いて、千葉市ひまわり女性消防クラブの佐々木喜代枝会長から活動内容について発表。千葉市と稲毛区の概要、千葉市少年女性防火委員会組織図、ひまわりの活動目的、住警器の訪問指導について発表されました。「まいにち風呂敷」と題した魔法の布、風呂敷の包み方はユニークで面白いものでした。ユーモアを交えたお話に皆さん耳を傾けていました。

午後からの講演会は、東京大学名誉教授・東京理科大学教授の菅原進一先生による「地域における防火・防災力の向上について」と題してご講演を頂きました。①災害大国日本では高齢者の急増、変化する地球環境のなか、豪雨、豪雪、竜巻、地震などの自然災害が頻発している。火災対応の貴重な経験をあらゆる災害に生かして欲しい。②糸魚川のような大火を防ぐには初期消火が大切。強風下での飛び火撃退対策も欠かせない。婦人（女性）防火クラブの活躍に期待したい。



講師 菅原進一先生

③関東大震災当時は木密地域が多く市街地大火の原点的風景があった。阪神・淡路大震災から得られた教訓を今後に生かすべき。④濡れシーツの活用は初期消火のみならず、自らの身を守るためにも有効。昭和36年に消防力の強化がされ、防火・防災に対する消防力が整備された。⑤災害対応組織として、消防職・団員に加え、婦人（女性）防火クラブ・少年消防クラブ、自主防災組織、自治会など整備強化が図られた。⑥防火防災の基本理念として三つの「間」（空間・時間・人間）は、まちづくりにおいて、これらの相互関係を改めることによって、コミュニケーション、マネジメントの活発化に繋がる。また、防災関係機関が連携するとともに地域住民の「絆」により被害を最小限にとどめることが出来る。⑦少子高齢化、グローバル化、人工知能などの各種技術を活用し、気象・地震・火山噴火などの自然災害の発生をよりの確に予知することにより被害を最小限にする努力が大切。社会の変化に即応できるような防火防災対策が求められる。

菅原先生によるアカデミックな事象についての分かりやすい説明に参加者は聴き入っておりました。

研修終了後、参加者からは「住警器や防災品の大切さを再認識した」「千葉市ひまわり女性消防クラブの活動は参考になった」「大火防止対策としてまずは『初期消火』は改めてその大切さを痛感した」「今回の研修は今後の活動に生かしたい」などの感想が寄せられました。参加者は終始熱心に聴講頂き平成28年度千葉県婦人防火研修会は成功裏に終了することができました。

おわりに、開催に当たりご協力いただきました千葉県消防学校、公益財団法人千葉県消防協会、一般財団法人日本防火・防災協会およびご参加頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

多年の労苦に輝く栄光

主な受章者の紹介

《春の叙勲 11名》

(瑞宝小綬章)

元 安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 消防正監 石井 浩

(瑞宝双光章)

元 富里市消防団 団 長 野口 文夫

(瑞宝単光章)

元 四街道町消防団 分 団 長 青木 享充 元 東金市消防団 副 団 長 石橋 孔夫

元 匝瑳市消防団 団 長 太田 康晴 元 我孫子市消防団 副 団 長 大星 久雄

元 鎌ヶ谷市消防団 団 長 鈴木 定夫 元 いすみ市消防団 副 団 長 長岡 哲志

元 長生郡市広域市町村圏組合消防団 分 団 長 諸岡 義郎 元 館山市消防団 団 長 山田 一夫

元 横芝町消防団 団 長 若梅 喜作

《秋の叙勲 12名》

(瑞宝小綬章)

元 市川市消防局 消防正監 板橋 清 元 市原市消防局 消防正監 申田 克美

元 柏市消防本部 消防正監 鈴木 豊 元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部

消防正監 並木 孝司

(瑞宝単光章)

元 横芝光町消防団 団 長 伊藤 弘行 元 千葉市消防団 分 団 長 小田切榮一

元 野田市消防団 副 団 長 小松 栄 元 いすみ市消防団 団 長 齊藤 芳一

元 山武市消防団 副 団 長 佐瀬 幸基 元 長生郡市広域市町村圏組合消防団

元 鎌ヶ谷市消防団 団 長 山田 静雄 団 長 廣田 元一

元 流山市消防団 副 団 長 割貝 正男

《第26回危険業務従事者叙勲 31名》

(瑞宝双光章)

元 八千代市消防本部 消防司令長 阿部 信明 元 野田市消防本部 消防司令長 石塚 哲司

元 匝瑳市横芝光町消防組合消防本部 消防司令長 磯部 宗二 元 千葉市消防局 消防正監 伊藤 喜義

元 香取広域市町村圏事務組合消防本部 消防司令長 伊藤 寛 元 流山市消防本部 消防 監 大越 一夫

元 印西地区消防組合消防本部 消防 監 岡本 一男 元 四街道市消防本部 消防 監 川村 雅敏

元 松戸市消防局 消防 監 小菅 英明 元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部 消防 監 鶴岡 人

元 千葉市消防局 消防 監 仲田 要 元 柏市消防局 消防 監 直井 哲夫

元 匝瑳市横芝光町消防組合消防本部 消防 監 並木 茂 元 安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部

消防 監 中村 正昭

元 成田市消防本部 消防 監 萩原 武雄

元 市川市消防局 消防 監 古本百合人

元 香取広域市町村圏事務組合消防本部 消防 監 林 照秋

元 柏市消防局 消防 監 森 仁志 元 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部

消防 監 米元 一夫

元 千葉市消防局 消防司令長 渡辺 義廣

(瑞宝单光章)

元 松戸市消防局	消 防 司 令	青 山 幸三	元 千葉市消防局	消 防 司 令	石 川 誠
元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部			元 香取広域市町村圏事務組合消防本部		
	消 防 司 令 長	香 取 勝雄		消 防 司 令 長	向 後 仁
元 千葉市消防局	消 防 監	立 石 文男	元 銚子市消防本部	消 防 司 令	林 廣二
元 富里市消防本部	消 防 監	藤 崎 操	元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部		
元 市川市消防局	消 防 司 令 長	松 丸 茂夫		消 防 司 令 長	布 施 治
元 木更津市消防本部	消 防 司 令 長	横 田 彰	元 船橋市消防局	消 防 司 令 長	渡 辺 信義

《第 27 回危険業務従事者叙勲 32 名》

(瑞宝双光章)

元 成田市消防本部	消 防 司 令 長	飯 嶋 和夫	元 銚子市消防本部	消 防 監	飯 森 利 兵 衛
元 千葉市消防局	消 防 監	伊 藤 芳 明	元 野田市消防本部	消 防 司 令 長	大 柴 夏 二 郎
元 千葉市消防局	消 防 正 監	岡 田 和 史	元 山武郡市広域行政組合消防本部		
元 松戸市消防局	消 防 司 令 長	川 村 吉 満		消 防 監	加 瀬 操
元 四街道市消防本部	消 防 司 令 長	斉 藤 明 広	元 浦安市消防本部	消 防 司 令 長	城 和 孝
元 流山市消防本部	消 防 司 令 長	鈴 木 平	元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部		
元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部				消 防 監	高 山 光 一
	消 防 監	根 本 昭 一	元 市原市消防局	消 防 監	羽 鳥 薫
元 旭市消防本部	消 防 司 令 長	早 川 貢 永	元 市川市消防局	消 防 監	前 橋 久 生
元 千葉市消防局	消 防 正 監	山 田 廣 利	元 柏市消防局	消 防 監	吉 田 一 弘

(瑞宝单光章)

元 千葉市消防局	消 防 司 令 補	石 川 敏 雄	元 野田市消防本部	消 防 司 令 長	石 山 義 男
元 我孫子市消防本部	消 防 司 令	小 熊 照 雄	元 千葉市消防局	消 防 司 令	小 高 輝 夫
元 松戸市消防局	消 防 司 令	川 島 恒 男	元 松戸市消防局	消 防 司 令	黒 木 正 行
元 木更津市消防本部	消 防 司 令 長	小 泉 俊 行	元 柏市消防局	消 防 司 令 長	齊 藤 茂
元 千葉市消防局	消 防 司 令	佐 久 間 繁 雄	元 松戸市消防局	消 防 司 令	寺 崎 克 男
元 船橋市消防局	消 防 司 令 長	土 橋 國 義	元 成田市消防本部	消 防 司 令	増 田 勝
元 松戸市消防局	消 防 司 令	森 田 登 美 雄	元 船橋市消防局	消 防 司 令 長	山 田 昭
元 流山市消防本部	消 防 司 令 長	山 本 秀 男			

《春の褒章 5 名》

(紅綬褒章)

人命救助	大 谷 雄 一 郎
人命救助	三 輪 太 郎

(藍綬褒章)

松戸市消防団	副 団 長	大 塚 精 一	流山市消防団	団 長	小 倉 邦 裕
我孫子市消防団	団 長	吉 田 喜 一 郎			

《秋の褒章 2 名》

(藍綬褒章)

御宿町消防団	団 長	小 川 征	船橋市消防団	副 団 長	土 橋 敬 治
--------	-----	-------	--------	-------	---------

《文化の日千葉県功労者表彰 3 名》

四街道市消防団	団 長	塚 本 正 英	市原市防火安全協会	会 長	中 島 和 洋
市原市消防局	消 防 局 長	坂 本 文 生			

！知ろう！ みんなの街の消防団



千葉県と(公財)千葉県消防協会では、去る平成29年2月5日(日)に、消防団協力事業所の認定を受けている千葉市のイオンモール幕張新都心を会場として「消防団PR活動イベント」を開催しました。このイベントでは、企業における地域貢献の紹介(消防団協力事業所)のほか、千葉市、銚子市、市原市、習志野市の各消防団の皆さんによる「防災寸劇」「紙芝居」「雲龍水の紹介」

や千葉科学大学、淑徳大学、帝京平成大学の学生消防隊の皆さんの協力をいただき心肺蘇生や消火器の操作、新聞紙を使つての防災グッズづくりなどを体験する「少年消防団員体験会」を実施したほか、千葉科学大学藤本教授による「防災クイズ」など、盛りだくさんのメニューを用意し、大変多くのご家族連れの参加をいただきました。このイベントを通して、消防団活動への参加促進、消防や防災活動に対する理解を深めることができました。



東 西 南 北

東 西 南 北 沼南まつりの会場において消防フェスタを開催 柏市消防局沼南消防署

柏市消防局沼南消防署では、平成28年10月9日(日)に沼南まつりの会場において、消防フェスタを同時開催しました。

会場では、放水体験、ロープ渡り体験、ミニ消防車の体験乗車などのブースを用意し、大勢の来場者に体験してもらいました。

今後もこのような活動を通して、多くの市民から消防業務の理解と協力を得られるよう、広報活動を実施していきたいと思っております。



東 西 南 北 平成28年度警防技術大会の開催 千葉市消防局

千葉市消防局では、10月11日(火)、12日(水)の2日間にわたり、千葉市消防学校で警防技術大会が行われ、各所属の代表部隊と隊員が確実性・迅速性を競いました。

部隊訓練は、出動直前まで想定を伏したブラインド型で実施、各部隊は合成写真や文字による現示の情報を収集し、その場での判断に基づいた活動訓練を行いました。

当日の訓練想定は、木造の一般住宅火災での先着中隊活動とし、その活動の内容は、各審査員により評価・検証を受けることで、今後の警防活動に生かすこととしています。



個人訓練は、若年層職員が、防火衣及び呼吸器の装着やロープ結索などを実施、日ごろのロープワークや個人技術の成果を披露しました。

参加隊員は、熱い闘志を燃やし、日頃の訓練成果を存分に発揮していました。



東 西 南 北 勇気ある人命救助に感謝状 松戸市消防局

松戸市消防局は、平成28年10月11日に株式会社小川防災の早房秀親さん、鈴木潤さん、橋本晃宏さんに対し、迅速な対応で勇気ある人命救助に感謝状を贈呈した。



この事案は、同年9月7日に市内で発生した共同住宅の建物火災において、逃げ遅れた女性1名を延焼中の煙が充満した台所から、自らの危険を顧みず救出し、安全な場所に避難させ、119番通報と併せ、各階の避難誘導を実施したもので、この適切な行動により火災の被害を最小限に留め、尊い命が守られたことに対し、感謝の言葉を伝えるとともに、感謝状が授与された。

東 西 火災原因損害調査訓練を実施 南 北 富津市消防本部

平成 28 年 10 月 11 日から 13 日までの 3 日間、今年度解体予定の旧富津市消防署富津出張所を利用し、火災原因損害調査訓練を行いました。

室内に着色スプレー等で黒焼部分を再現するなど、実災害に近い想定での訓練を実施することができました。



東 西 第20回火災調査研究発表会を開催 南 北 千葉市消防局

千葉市消防局は、10月14日に消防局講堂で、火災調査結果を披露する「第20回火災調査研究発表会」を開催しました。年に一度開催しているこの発表会も、今年で20回目を迎え、県内外の消防職員200名以上の聴講を頂き、盛大に開催することができました。

発表会では、本市及び県内他都市の消防職員による合計5



事例の発表に加え、さいたま市消防局の調査係長による特別講演も行われました。

この発表会は、自分では経験のない調査事例を具体的に学び、同じ志を持った職員間で共有できるという大きなメリットがあり、大変貴重な機会ととらえています。今後も県内外の消防本部との連携を強化し、市民の安全・安心につなげていきます。



東 西 ラッピングモノレールで消防演習を実施 南 北 千葉市消防局

稲毛消防署では、10月15日、千葉都市モノレール本社・車両基地にて、秋季消防演習を実施しました。

これは、火災予防週間にさきがけて、千葉都市モノレール、千葉市消防団、稲毛消防署が協力して実施したものです。

演習では、消防団員募集のラッピングを施したモノレール「サンダーバード号」を使用しました。

当日は、「ちばモノレール祭り 2016」が行われる中、脱出シュートによる救出、梯子車・消防ヘリコプターによる救助活動が実施され、約6000人以上もの来場者の防災意識の高揚が見込まれました。



東武バスイースト救急・救助研修を開催 柏市消防局西部消防署

柏市消防局西部消防署では、平成28年10月19日（水）東武バスイースト株式会社西柏営業所の協力のもと、「東武バスイースト救急・救助研修」を開催しました。実車両を使用しての車両



概要及びジャッキアップポイントの説明、救助資機材取扱訓練、また、大型バスの交通事故を想定したトリアージ訓練を実施しました。実車両に触れながらの訓練となり、対応能力の向上を図るとともに、今後の検討事項も確認することができました。



東京電力と送電線合同訓練実施 流山市消防本部

流山市消防本部では、平成28年10月21日（金）、東京電力と合同で送電線における災害発生時対応訓練を実施しました。



訓練は、送電線にパラグライダーが引っ掛かり宙吊りとなった要救助者を梯子車により救出をする想定訓練及び鉄塔の昇降手順の確認を実施しました。通報から救出までの一連の流れの中で電力供給の停止手順及び消防隊への情報提供などを確認するとともに、消防隊により高所からの救出訓練を行い、連携と技術の向上を図りました。



鮮やかなデザインで注目を浴びる消防署の看板 松戸市消防局六実消防署

松戸市消防局六実消防署では、長年庁舎前に掲出されていた防火防災等の啓発看板の老朽化に伴い、新たな啓発看板を松戸市防火協会六実支部の協力を頂き作成いたしました。

新看板について六実署員の中で意見を出しあい、74のキャッチフレーズ案から、防火防災関係では、「地震から身を守るのはあなた自身」救急関係では、「命を救うための救急車！適正利用にご協力を！」消防団関係では、「地域防災の要！消防団員募集中！」などのキャッチフレーズが選出され、これを基に完成した看板は、各キャッチフレーズに合ったデザインの仕上がりになっています。

防火防災・救急・消防団の広報など、全てここ数年で対策が求められている内容であり、今回の新看板の作成を通じ、私達消防職員も改めて消防広報について考える良いきっかけとなりました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 29年 3月

- 3月 3日 千葉県消防大会
(青葉の森芸術文化ホール)
- 3月14日 千葉県消防協会定時理事会(千葉市)
- 3月22日 千葉県消防協会臨時評議員会(千葉市)



平成 29年 春季全国火災予防運動の実施

平成 29年 3月 1日～3月 7日

重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (3) 放火火災防止対策の推進
- (4) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (5) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (6) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- (7) 林野火災予防対策の推進

平成28年度 全国統一防火標語

「消しましょう その火その時 その場所で」

<表紙の説明>

「茂原公園の桜」茂原市（長生支部）

茂原公園は茂原市のほぼ中央に位置し、山や湖水などの自然の地形を利用して展望広場や散策道、多目的広場などを取り込んで作られた公園です。春にはソメイヨシノやサトザクラなど約2,850本に及ぶ桜が咲き乱れ、池に浮かぶ朱色の弁天堂との絶妙な景色は「日本さくら名所100選」にも選ばれています。桜以外でもウメ、ツツジ、アジサイ、モミジ等の四季を通じて楽しめるさまざまな樹木が植えられており、憩いの場、自然との触れ合いの場として市民に親しまれています。

